

HOYA株式会社

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

2023年1月31日

将来予測に関する記述

当社は、将来計画および業績見通しに関する情報の言及や情報開示を行う場合があります。歴史的事実に関するものを除く全ての記述は、将来予測と見做される可能性があり、資料作成時点における経営者の想定や入手しうる情報に基づくものです。これには、為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上/収益性/設備投資/キャッシュ/その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、臨床または研究開発能力、顧客の行動または商慣習、医療費償還制度、新型コロナウイルスをはじめとする疫病や健康問題などの影響を含みます。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。また、新たな情報や将来の出来事などの結果を受けて、将来予測に関する記述を更新する義務を負いません。

決算ハイライト

1. HDD基板の売上が急減速したものの、ブランクスやライフケア事業が全体的に堅調に推移し、連結ベースでの微増収を達成
2. 情報・通信事業はHDD市場の影響により減収となったものの、機動的なコスト削減により利益率の低下を最小限に抑えた
3. 400億円を上限とする自社株買いを決議

業績概況

(億円)	Q3 FY21	Q2 FY22	Q3 FY22	YoY	QoQ
売上収益	1,713	1,841	1,735	+1%	-6%
税引前四半期利益	519	618	385	-26%	-38%
四半期利益	409	473	305	-25%	-35%
cf. 通常の営業活動からの利益	535	539	493	-8%	-9%
cf. 通常の営業活動からの利益率	31.3%	29.2%	28.4%	-2.9ppt	-0.8ppt

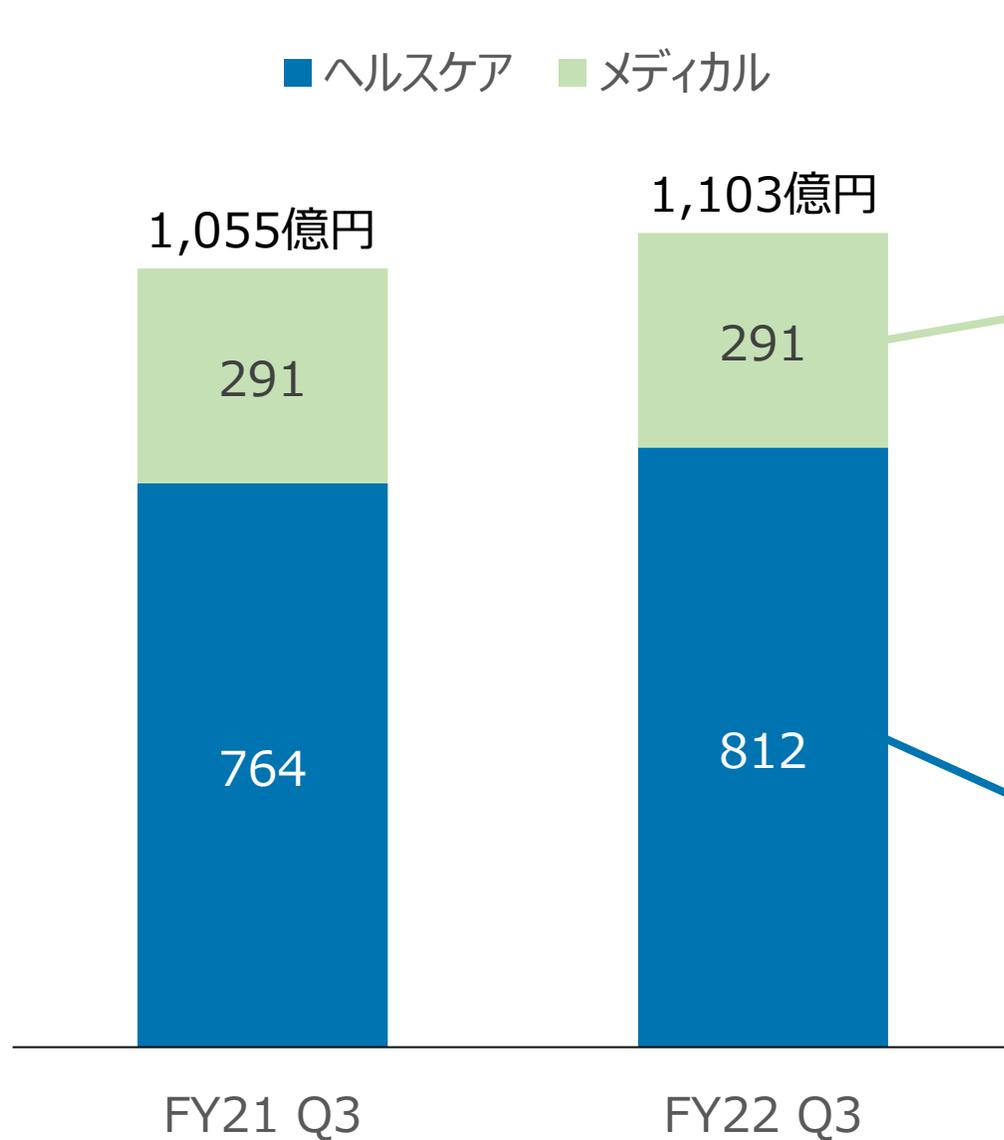
- 為替換算影響を除いた実質成長率は売上収益-7%、税引前四半期利益-29%
- 税引前四半期利益と通常の営業活動からの利益の差異は、主にドル建て資産の変動による為替損123億円による

ライフケア事業

(億円)	Q3 FY21	Q2 FY22	Q3 FY22	YoY	QoQ
売上収益	1,055	1,188	1,200	+14%	+1%
税引前四半期利益	215	274	174	-19%	-36%
cf. 通常の営業活動からの利益	232	232	255	+10%	+10%
cf. 通常の営業活動からの利益率	22.0%	19.5%	21.2%	-0.8ppt	+1.7ppt

- 為替ニュートラルでは売上収益+5%、税引前四半期利益-23%

ライフケア事業 各製品の概況（為替ニュートラル）



内視鏡 [YoY -9%]

ゼロコロナ政策と政策転換後の感染拡大により中国での販売活動が停滞

眼内レンズ [YoY +7%]

ゼロコロナ政策により中国が大幅減収も、日本の症例数増により堅調。1月に韓国法人設立、継続的に販売国を拡大

人工骨ほか [YoY +12%]

医薬品開発用バイオセラミックスの好調が継続

メガネレンズ [YoY +6%]

マクロ要因等により欧州が減収も、アジアでのMiYOSMARTの販売増やM&Aが増収に貢献

コンタクトレンズ [YoY +7%]

昨年3月発売のOEM PB（2製品）が好調。オンライン売上も大幅増。12/1に内製品を発売し、PBの展開を拡大

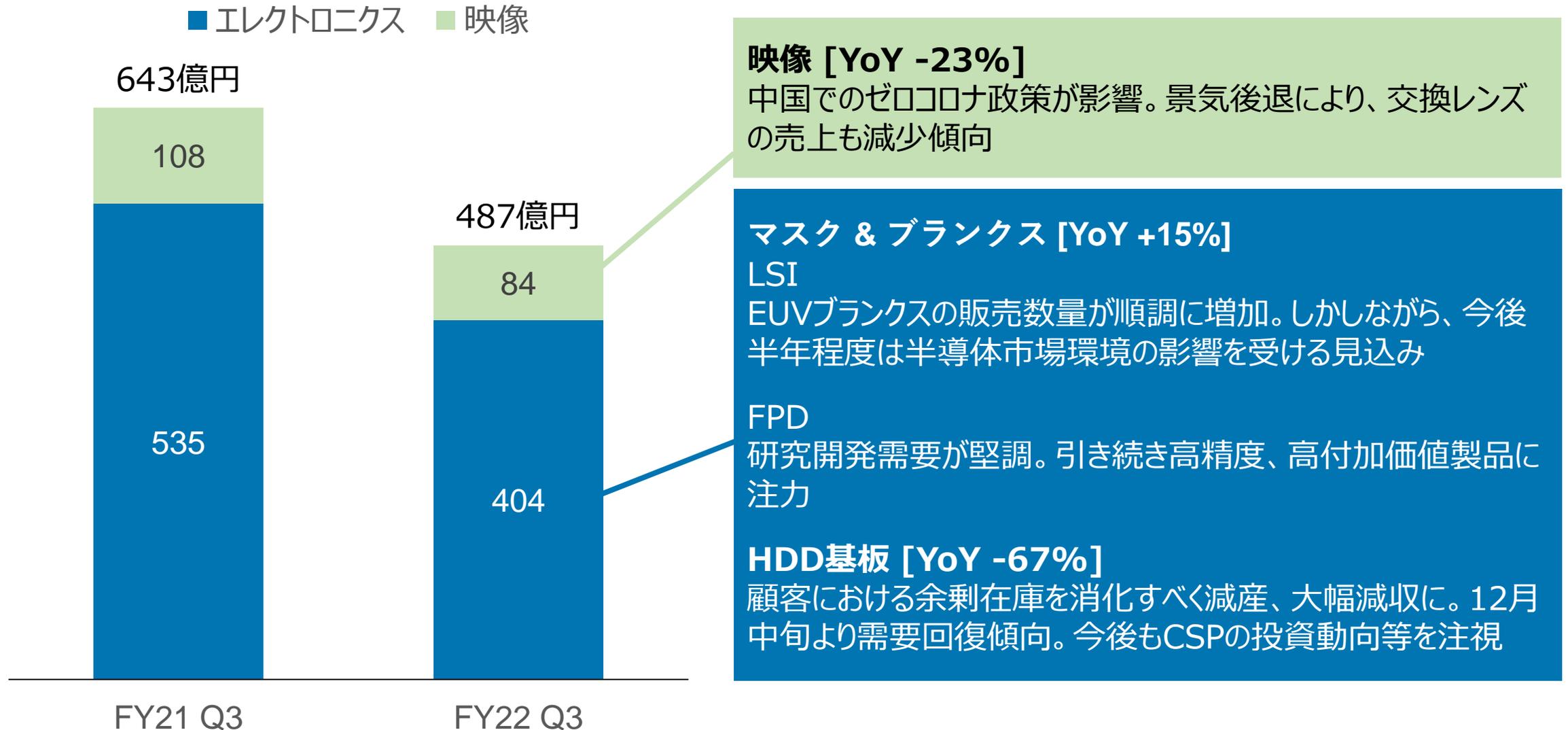
*成長率はConstant currency basis

情報・通信事業

(億円)	Q3 FY21	Q2 FY22	Q3 FY22	YoY	QoQ
売上収益	643	642	523	-19%	-19%
税引前四半期利益	313	344	209	-33%	-39%
cf. 通常の営業活動からの利益	311	317	249	-20%	-22%
cf. 通常の営業活動からの利益率	48.4%	49.3%	47.4%	-1.0ppt	-1.9ppt

- 為替ニュートラルでは売上収益-24%、税引前四半期利益-35%

情報・通信事業 各製品の概況（為替ニュートラル）



貸借対照表/キャッシュフロー関連

株主還元

- 上限400億円の自社株買いを本日の取締役会で決議
- 従来通り、取得した株式は消却予定

設備投資*

- Q3実績は125億円 (YoY +70億円)
- 年間では400億円前後を見込む

減価償却費

- Q3実績は126億円 (YoY +19億円)

* CFベース。有形固定資産の取得

業績予想

Q4予想

(億円)	Q4 FY21	Q4 FY22	YoY	QoQ
売上収益	1,696	1,742	+3%	+0%
税引前四半期利益	538	482	-10%	+25%
四半期利益	401	367	-9%	+20%

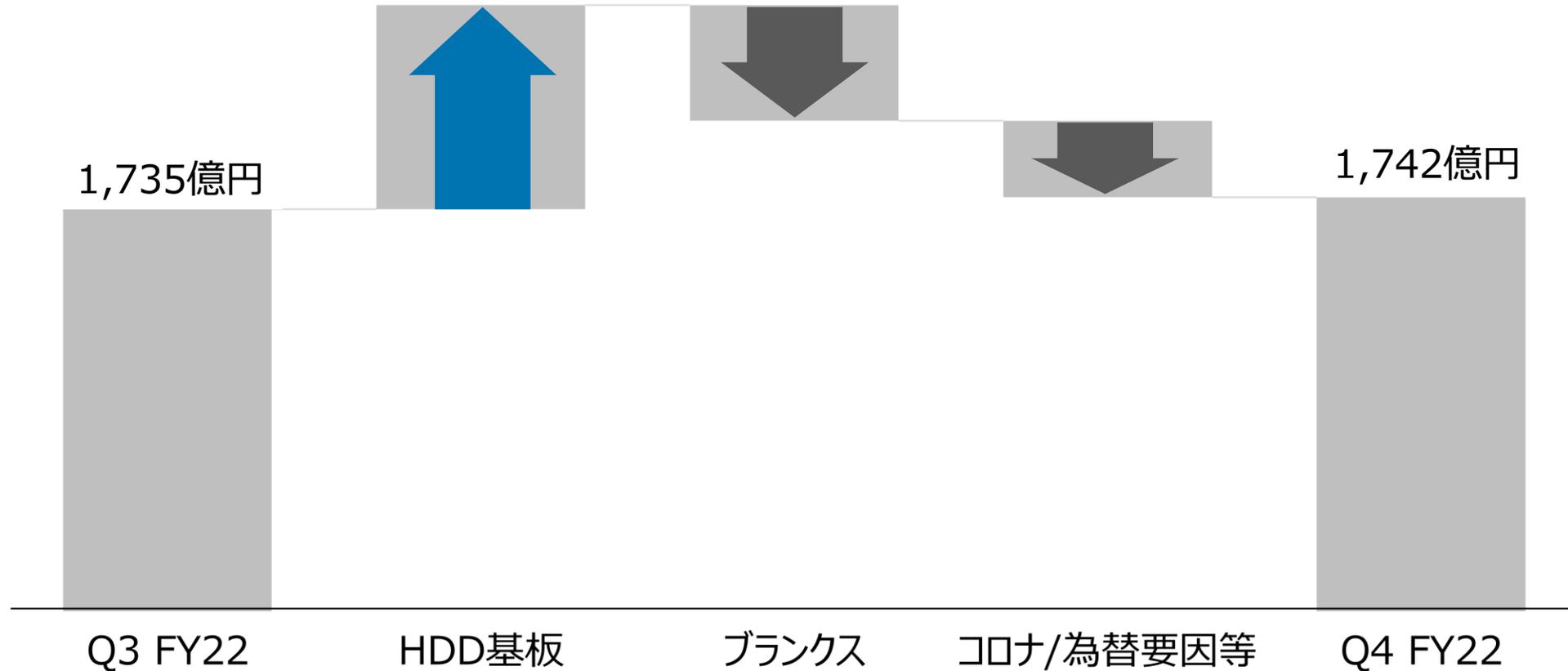
通期予想

(億円)	FY21	FY22	YoY
売上収益	6,615	7,120	+8%
税引前当期利益	2,107	2,100	-0%
当期利益	1,653	1,630	-1%

為替前提 USD=125円、EUR=135円

ご参考：売上収益のQoQ変動の前提

- 在庫消化が進んだHDD基板は大幅に回復
- 半導体市場環境の悪化によりブランクスはQoQ減収
- 中国におけるコロナ感染拡大の主にライフケアへの影響、為替変動のマイナス影響（主にドル建て資産）を見込む



*上記グラフは、主な変動要素の大まかな影響度合いを表現しています。棒グラフの長さは、売上高の変動幅を正確に表しているものではありません。

ご参考：ハイエンド内視鏡をローンチ

内視鏡の新製品、ビデオプロセッサ—PENTAX Medical INSPIRA™（EPK-i8020c）ならびにビデオスコープ（i20c）が欧州でCEマークを取得。欧州で販売を開始し、アジアや米州と順次拡大を計画している。



新型プロセッサ—PENTAX Medical INSPIRA™

- 4K画像処理 & 革新的な画像強調機能
- 直感的かつカスタマイズ性の高いタッチパネル
- 「ブリッジ機能」により従来型のスコープも接続可能、かつ画質のアップグレードを実現

新型スコープ i20c

- 画質の向上
- 握りやすさ、角度調整機能の進化などによる操作性向上

Pentax Medical INSPIRA™（EPK-i8020c）

*本製品は本邦未承認であり、現時点において日本国内では発売されていません。当文章は、決算報告資料における事業活動の報告を目的とし、[当該医療機器のCEマーク取得のプレスリリース](#)の主旨の和訳に補足を追記したものです。日本における広告を意図していません。文章中の製品名、機種名については本邦で未承認・未発売のものが含まれています。

本資料の表記について

- ✓ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。
- ✓ 2022年4月～2023年3月の会計期間を2023年3月期もしくはFY22と表記しています。
- ✓ 億円未満の金額は四捨五入しており、そのため合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。
- ✓ 「通常の営業活動からの利益」は、税引前四半期利益から金融収益・費用、持分法投資損益、為替差損益及び非経常的に発生する損益等を除いて算出している参考値です。
- ✓ 本資料の財務諸表は明細を割愛しています。詳細な財務情報は決算短信もしくは決算短信補足資料をご覧ください。
<https://www.hoya.com/investor/kessan/>

Innovating For a Better Tomorrow

HOYA